

京大若手会 関西で初の交流会開催

「京都大学同窓会若手会」(以下・若手会、会長・許志国(06年経済学研究科修了))の交流会が、京都大学で行われた「ホーム・カミング・デー」にあわせて、2013年11月2日に、京都大学時計台国際交流ホールで開催された。関西初開催となった今回の交流会には、満45歳以下の卒業・修了生に加えて、現役学生も含め、総勢46人(男性19名、女性27名)が参加した。

冒頭で許会長が若手会の設立趣旨と経緯を説き、若手が結束する価値を呼びかけた後、チアリーディングサークル「TRAVIS」、落語研究会、奇術研究会の盛大な演技・パフォーマンスに会場が沸いた。

参加者のほとんどは初対面であったにもかかわらず、早くも次の関西交流会開催を期待する声があがった。



京都初開催・京大若手会参加記念写真

松本紘総長・若手会を激励

若手会の交流会と同日開催となった京大全学の同窓会「ホーム・カミング・デー」では、松本紘京都大学総長が2度に渡り、若手会を激励されるというサプライズがあった。

同日午前に行われた「京都大学同窓会役員会」では、松本総長が地域・学部同窓会の会長らに若手会を紹介され、活動をサポートすると明言された。午後の懇親会では、自ら若手会メンバーを激励くださった。

当日、全学同窓会の評議員として同窓会役員会に参加した許会長は、「大変嬉しい。若手の仲間と会のために努力してきたよかった」と述べ、総長の激励に感謝を隠さずにいた。



京大ホームカミングデーの様子



松本紘総長と若手会役員・幹事団



若手会の設立趣旨と経緯を説明する許会長



■若手会で縁結び・久保さんと田原さん(写真①)
 東京で開催された9月7日の第3回若手会まで面識のなかった二人。偶然にも、東京に向かう新幹線で隣の席であった。しかし、二人は互いに相手の美貌に嫉妬してか、会話がなかったために、同じ目的地に向かっているとはつゆ知らず東京に到着。

会場では、これまた運命にも同じグループとなり、再び隣席となり初めて「京大生か」と気付いた。これで意気投合した二人は、若手会の「縁結び」に感謝し、二人は京都で開催する若手会の主力幹事となり、「愛」がさらに深まった。

■誕生日でiPhone蠟燭を吹いた田中さん(写真②)

若手会の役員田中さんは11月4日が誕生日。許会長からの「虐め指示」で、松原理事が風邪の中、深夜にコンビニをはしごし、お祝いのケーキを買ったが、ロウソクが手に入らなかった。許会長は機転を利かせ、iPhoneを取り出して、画面にロウソクを「付けた」。iPhoneろうそくを吹いたのは、恐らく田中さんが世界初だった。



■若手会幹事の女将達(写真③~④)

③三浦さん、④黄さん
 二人とも東京で開催した若手会に参加した後、若手会の「鉄板幹事」となった。関西勤務の三浦さんは東京の幹事を務め、黄さんは関西の幹事を務めた。



落語研究会



チアリーディングサークルTREVIS



歓談の模様



奇術研究会

今後の若手会予定

- 第5回：忘年会 11月30日(土) 18:00~ Blue-T(東京・笹塚)
- 第6回：年次総会 3月15日(土) 14:30~ 京都大学東京オフィス(東京・品川)
- 第7回：若手交流会 6月7日(土) 18:00~ 都内(予定)

詳細と参加申込》若手会ホームページ(下段)参照

若手会とは

京都大学同窓会若手会とは、京都大学の学位(学士、修士、博士)を有し、かつ満45歳以下の若者に限定した同窓会組織です。

- 特徴
- 資格必要：京都大学の学位を有する満45歳以下の若手限定。
- 学部不問：在学時の学部、研究科、専攻を超えた同窓会組織。
- 地域不問：日本国内、世界各地で開催する若手会に参加可能。
- 所属不問：勤務先、業種、職種を超えた異業種の同窓交流会。
- 全員主役：会則に基づき、参加者が自主運営の京大若手組織。